

着心地のよさを「ほっ」とする...

# 「ENTRY SG.」のほっこりシャツ 吊り編み機が生む至極の風合い

ダ布林  
イラストレイテッド



豊富なカラーと20種類を取揃える「ENTRY SG.」の製品ラインアップ

1mとごくわずか。現在の高速シンカー機と比べ、「低速」であることで生地地の柔らかさに違いが出る。ゆっくりと回転し糸に強くテンションをかけずに筒状に編み上がるので、伸縮性が高くしなやかでやわらかく、胴回りを締め付けすぎない独特の着心地が生まれるのだ。丸編みの生地はそのまま胴回りに使用するため、脇の下の縫製が不要となりシームレスである点も、快適な着心地の特長となっている。

60年余今まで変わることなく稼働してきた歴史ある吊り編み機。惜しみなく時間をかけ、効率を求めず手間暇かけて作られていた、よき時代のモノづくりをも体感していただけるTシャツ。日々の「ごほうび」にいかがでしょうか。

ダ布林イラストレイテッド（大田区西馬込、金刺誠代表取締役社長、03・3775・0408、<http://entrysgonlinestore.com>）のオリジナルカットソーブランド「ENTRY SG.（エントリーエスジー）」は、旧式の編み機を使用した快適な着心地のTシャツが特長である。同ブランドのカットソーは生地を和歌山で編み立て、縫製は東京都江戸川区と希少な純国産90年代までは50%近くあった国内生産量は、現在わずか2%台まで激減している。国内流通の Apparel 製品は、ほぼ輸入製品といってもいいほどである。

同社製品の素材となる生地は、昭和30年代のメリヤス産業を支えていた「吊り編み機（丸編み）」で編む。旧式の吊り編み機は低速なため、編み上がる生地は1時間に



和歌山に数軒のみを残す、吊り編み機専門の編み立て工場